

特集 海きらら開館10周年

九十九島の 貴重な海をいつまでも

平成21年にリニューアルオープンし、
こととして10周年を迎える九十九島水
族館海きらら。今回の特集では、海
きららの10周年を振り返るとともに、
生き物の命を育むスタッフの調査研
究の取り組みなどを紹介します。ま
た本年は本市が9月19日を「九十九島
の日」と制定してから20周年を迎える
記念の年でもあり、九十九島を楽し
むさまざまなイベントが開催されま
すので、併せてお知らせします。

海きらら10年の歩み

- 平成21年 海きららオープン
- 平成22年 日本初ハンドウイルカ2頭の
ジャンピングキャッチボール完
成&披露
幻の深海魚「リュウグウノツカ
イ」九十九島湾大水槽に展示
下村脩博士が海きらら名誉館長
に就任
- 平成23年 海きらら入館100万人達成
- 平成24年 日本初「ウシエイ」の水槽内出産
日本初確認のクラゲの和名「ホシ
ヤスジクラゲ」に決定・発表
世界初 新種「ノドナガチヨウク
ラゲモドキ」の生体展示
スブラッシュドールフィン初開催
- 平成25年 日本カブトガニを守る会総会開催
新種「ワタゲクラゲ」の展示開始
- 平成26年 新種ナマコ「フラドラベスキラ
ラ」を学会で正式発表
- 平成27年 第3回カブトガニ国際ワーク
ショップ開催
- 平成28年 五島の海水槽の「タマカイ」展示
20周年イベント
- 平成29年 日本初確認「ビードロクラゲ(仮
称)」展示開始
- 平成30年 ハンドウイルカのニーハがアイ
ルを出産

地元九十九島の海を誇りに思ってもらいたい

西海国立公園九十九島水族館館長 川久保 晶博あきひろさん

もっと多くの人にもっと多くの

魅力を知ってもらうために

海きららの前身の西海パールシーセンターは、アイマックスドームシアターと船の展示館、水族館の3つの役割を持つ複合施設でした。

九十九島の海の生き物のことを伝えるのが役割の水族館では、皆さまへ楽しく、そして、分かりやすく紹介できるように、まずは自分たちが九十九島を知る必要があります。そのため、九十九島の海にはどんな生き物が生息しているかということなどを積極的に調査してきました。

当時、水族館は規模が小さかったため紹介できる生き物に限りがあり、「魚屋さんに並んでいる魚しかいないのではないか？」との声も多くありました。調査を進めるうちに、絶滅危惧種やきれいな魚などの生き物が九十九島にはたくさんいることが分かりました。自然豊かでさまざまな生き物がいる九十九島のことをもっと多くの人に知ってほしいという私たちの思いと、

もっと多くの生き物を見たいというお客さまの思いが合わさり、水族館をメインとする施設へのリニューアルに向かうこととなりました。

自然光に包まれ悠々自適に

魚が暮らす「九十九島湾大水槽」

リニューアルオープンをすることが決まってきたのは、魅力的な水族館を作ろうと連日夜遅くまで会議をする日々が続きましたが、その時間はとても楽しく充実したものでした。九十九島の生き物たちを魅力的に見せるためにはどうしたらいいかを関係者が一致団結して取り組むことができました。

「九十九島湾大水槽」は特に思いのこもった水槽で、アジやイワシ、サバなど皆さんに親しみのある生き物たちにも興味を示してもらえよう、天然の光が差し込む屋外型水槽を採用しました。屋外型にすることで水槽の維持管理に苦勞する面もありますが、自然光に包まれた魚たちは水槽の中で悠々自適に生活することができています。

九十九島の海中をリアルに再現し、天然の光が差し込む大水槽は、とても幻想的で多くの人に感動を与えてくれる自慢の水槽です。

まずは楽しんでもらい

主体的な学びにつなげる

リニューアルオープンした当初は九十九島のことを伝えようという気持ちが強過ぎて学習的な要素を前面に出して過ぎていたように思います。そのような反省から、最近では、生き物をスタッフ手書きのイラストで紹介したり、イルカのプログラムで観客に水しぶきを浴びてもらったりするなど、来館者により楽しんでもらえるような内容に取り組んでいます。以前は学習してもらおう場所としての水族館を目指してきましたが、現在は、九十九島やその生態系の価値はその楽しさの中に仕込みつつ、来館者が感じる楽しさやその関心から来館者自身の主体的な学びへつなげるのできる水族館を目指し運営しています。

川久保館長



イルカたちの喜びを追求して
楽しそうな姿を見てもうらや

調査で九十九島には多くの鯨類がいることが分かってきたため、リニューアルオープンを機に九十九島をテーマとする水族館としてイルカを展示することにしました。私たち水族館スタッフが生き物たちと真剣に向き合うことは来館者に楽しんでもらうことの土台になっていると思っております。特にイルカについては、お世辞にも広いとは言えないプールで生活しているので、イルカたちの喜びを追求するように日々向き合っています。スタッフがイルカたちと愛情を持って向き合い親しくなることで、イルカたちの楽しそうな姿を見ることができるようになります。イルカや自然のことなどを考えてくれるようになる。そのような情報の伝え方も海きららの役割だと思っています。

貴重な自然環境を世界に発信して
未来につないでいきたい

当館では九十九島の自然の豊かさを全国に発信し、その素晴らしさを

皆さんと共有するため、調査や研究で分かったことを学会などさまざまな機会に積極的に発表しています。

例えば、全国的に数が減少しているカプトガニですが、自然豊かな九十九島には今も数多く生息しており、その調査結果を学会などで広く情報発信してきました。すると、このような取り組みが、埋め立て工事関係者の環境保全への理解につながってカプトガニの産卵地の保全に協力していただくようになり、結果として九十九島に生息するカプトガニを維持することにつながりました。このようなことから貴重な自然環境をできる限り広く情報発信していくことは大切なことだと思っています。

当館では継続的な調査を行う中で、クラゲなど新種の生き物を数多く発見してきました。しかし、私たちが九十九島について知っていることはまだほんのわずかです。これから九十九島と向き合い、見えてきた情報を発信することで全世界に九十九島の素晴らしさを知ってもらい、市民の皆さんに地元の海を誇りに思ってもらうとともに、九十九島の豊かな環境を未来につないでいけるように活動を継続してまいります。

(取材日 6月28日)



天然の光が差し込む九十九島湾大水槽



飼育員さんと仲良くポーズするイルカ



飼育員さん手書きの紹介パネル



平成21年7月18日オープニングセレモニーの様子



閉館後に夜遅くまで開かれたリニューアル検討会議

難しい人工授精で「アイル」が誕生！2頭で子育て中です



獣医師

加来 雅人さん



イルカ担当飼育員

佐藤 瞭一さん

大学や他の水族館などと共同で取り組み、人工授精で無事生まれた国内4例目のハンドイルカ「アイル」。飼育下によるイルカの出産は極めて難しいとされている中、昨年9月、無事に成功しました。

人工授精から出産まではイルカとともにさまざまなことに取り組みました。まずイルカは先輩イルカの行動を見て学習する生き物なのですが、ニーハもナミも出産・子育てをする先輩の姿を見たことがありませんでした。そこで海きららでは出産や授乳の映像を見せたり、子イルカに見立てたターゲットを使って授乳しながら泳ぐトレーニングをしたりするなど出産・子育てに向けて工夫を凝らしました。このような取り組みの成果なのかは分かりませんが、ニーハとナミは2頭でアイルを上手に育てることができています。

7月中旬からイルカのプログラムも再開しています。アイルはまだプログラムには参加していませんが、一緒にジャンプするなどかわいらしい姿を見せてくれていますので、元気な3頭にぜひ会いに来てください。

(取材日 6月28日)



仲良く3頭で泳ぐイルカたち(上)とプログラムの様子(下)

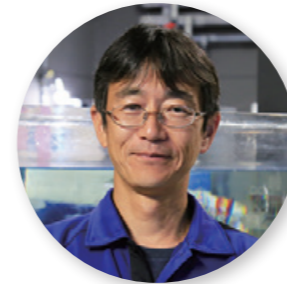


九十九島の生き物の命を育む 調査研究活動



約1,000種類の魚たちや100種類以上のクラゲ類などさまざまな生き物が生息する九十九島。この生き物たちの生態などは解明されていないことが多く、適切に保全していくためには日々の調査研究が欠かせません。海きららの飼育員さんに日頃の調査研究活動について伺いました。

日本有数のクラゲの生息地 種類によって生み出し方を変える繁殖技術



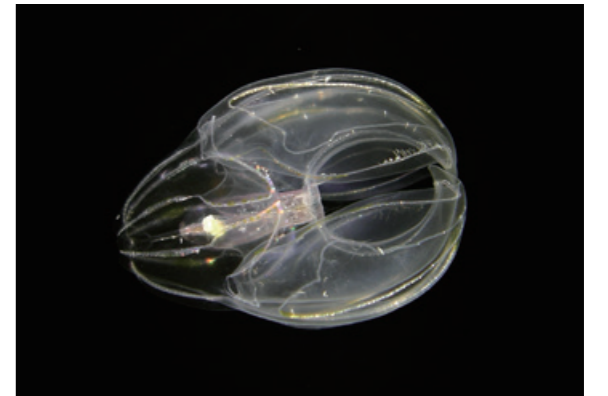
クラゲ担当飼育員
秋山 仁さん

九十九島は海きららの調査だけで約100種類以上のクラゲがいることが分かっている、日本でも有数のクラゲの生息地です。

クラゲは季節によって発生場所などが異なるため、来館者がいつ来ても展示を楽しめるようクラゲの採取に取り組んでいます。採取中に新種のクラゲに遭遇することもあり、海きららではこれまで2種類の新種を発見し発表しています。

また、年間を通してクラゲを展示できている理由に、クラゲの繁殖技術があります。クラゲの元となるポリプ(刺胞動物の形態の総称)は、刺激を受けることでクラゲを生み出すのですが、種類により水温の変化や光の変化など、きっかけとなる刺激に違いがあります。それらを種類ごとに調べ、元気なポリプから元気なクラゲが生まれるよう世話をし、海きららのクラゲ展示を支えています。

(取材日 7月1日)



九十九島で採取された新種のノドナガチョウクラゲモドキ(上)とワタゲクラゲ(下)



九十九島のサンゴ調査



九十九島の藻場



カブトガニの赤ちゃん

全国で生息数が減少しているカブトガニは、約2億年前からその姿がほとんど変わっていないことから「生き化石」と言われています。しかし産卵地の環境が変わると、そこから離れてしまうなどデリケートな部分もあるため、海きららではカブトガニの現状を把握するために随時調査をしています。そのほか、干潟の観察会を行い、参加者が自然に触れることで干潟の役割やカブトガニの存在を知り、その環境に目を向けるきっかけづくりも行っています。

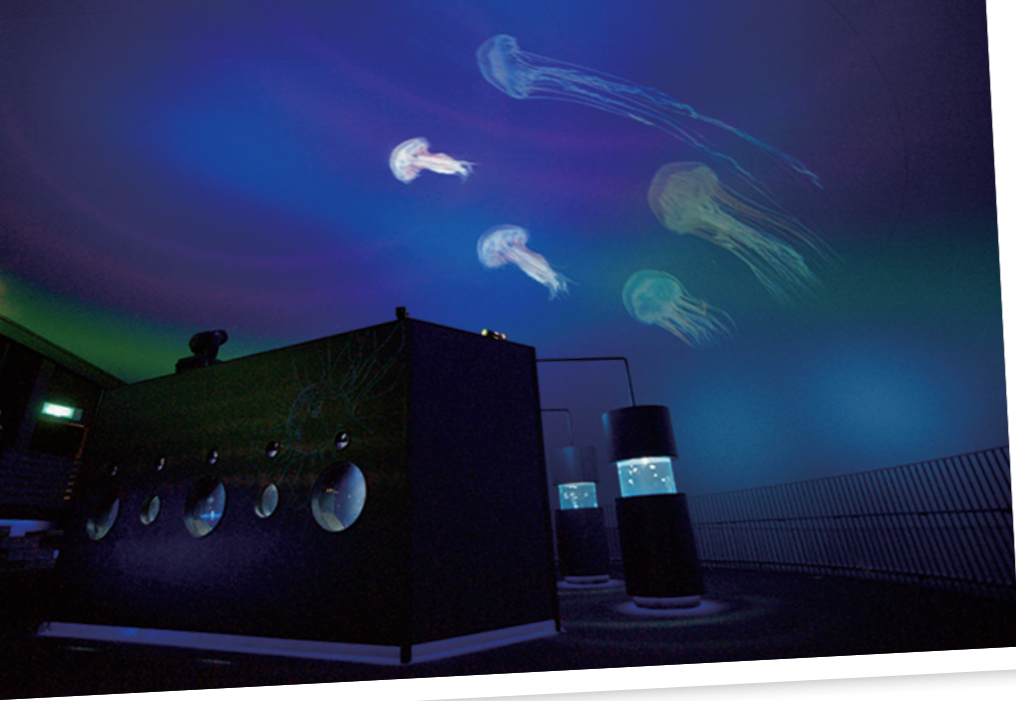
また、生き物の産卵や小さな生き物が隠れる場所となる藻場が減少していることが九十九島の海でも問題となっており、海きららでは海藻を育て、将来的には海に移植し環境を保全することを目標に、藻場の調査も行っています。これからも、さまざまな調査を続けて、九十九島のことを伝えていきたいと思っています。

(取材日 6月27日)



魚類担当飼育員
百武 可奈子さん

カブトガニの現状調査や
海藻を育てる取り組みを



クラゲラボ

クラゲシンフォニードームの天井にスライドを投影し、不思議がいっぱいのクラゲの生態についてクラゲの飼育スタッフが分かりやすく解説します。

日程 9月14日④、15日⑤、21日④、22日⑤

※ 15時50分～16時10分。

料金 無料(入館料が別途必要)

ヨガきらら



開館前に九十九島湾大水槽前で行うヨガ教室です。

日程 9月29日⑤、10月6日⑤※7時30分～8時30分。

料金 2,000円(9月29日実施分)、2,050円(10月6日実施分)

定員 各日先着15人

申込 開催日前日までに電話(☎28-4187)か公式サイト予約フォームで申し込んでください



※このほかにもさまざまなイベントが目白押しです。詳しくは九十九島パールシーリゾートのHPをご覧ください。

九十九島遊覧船パールフィーン 「サンセットライブクルーズ」



- ① 9月14日④ 17時40分頃出航 SandyTrip ライブ
 - ② 9月21日④ 17時30分頃出航 サクソフォン演奏
 - ③ 9月28日④ 17時20分頃出航 トランペット演奏
 - ④ 10月5日④ 17時10分頃出航 スティールパン演奏
 - ⑤ 10月12日④ 17時10分頃出航 ヴァイオリン演奏
- 料金

①～③ 高校生以上 1,400円、4歳～中学生 700円

④⑤ 高校生以上 1,500円、4歳～中学生 750円

九十九島 CLEAN UP 大作戦!

市民の皆さんがボランティアで行う清掃作業です。

日程 9月19日⑥ 7時～8時

場所 九十九島パールシーリゾート周辺

申込 住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入の上、はがき(〒857-0863、三浦町21-1)かファクス(23-6750)、Eメール(sasebo208@rapid.ocn.ne.jp)で佐世保観光コンベンション協会へ

締切 9月9日⑥必着

☎佐世保観光コンベンション協会 ☎23-3369



九十九島の日制定20周年&九十九島水族館海きらら10周年記念

九十九島 たのしみマンス

お祝いづくしのごときはイベントをグレードアップして開催します。お楽しみに!

9月14日(土)
～10月14日
(月・祝)

祝・九十九島の日制定20周年

はちゆうらい 爬虫類ハンター加藤英明氏トークショー

加藤氏が世界で出会った生き物や自然について語ります。加藤氏と海きらら館長・森きらら園長が対決する「九十九島の生きものクイズ大会」も同時開催します。



日程 9月15日⑤ 14時～14時40分

場所 海きらら丘の上広場

※雨天の場合、九十九島湾大水槽前。

料金 無料(入館料が別途必要)

Twitter キャンペーン

ツイッターで九十九島を褒めるキャンペーン。「#九十九島をむちゃくちゃホメる」を付けて九十九島の魅力などをツイートしてください。ベストホメニスト10名様には、九十九島の日限定オリジナルクオカードをプレゼントします。

日程 9月14日④～10月14日⑥



#九十九島を
むちゃくちゃ
ホメる

祝・九十九島水族館海きらら開館10周年

ダンディ坂野の スペシャルステージショー!

お笑い芸人のダンディ坂野さんによるスペシャルステージショー。海きらら飼育スタッフとの楽しい掛け合いにも注目です。



日程 9月22日⑤ 11時30分

～12時、14時～14時30分

場所 海きらら丘の上広場

※雨天の場合、九十九島湾大水槽前。

料金 無料(入館料が別途必要)

祝・世界で最も美しい湾クラブ加盟認定

「世界で最も美しい湾クラブ」 加盟認定記念モニュメント完成披露・除幕式

九十九島が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定されたことを記念したモニュメントの完成披露・除幕式を行います。来場者へのプレゼント(限定208人)や園児による和太鼓演奏もあります。

日程 9月14日④ 12時～12時30分

場所 九十九島遊覧船棧橋付近

夏の特別展 きららヒーローズ ～びっくり!!生きもの超能力～

周囲の色に溶け込むカメレオンや頭の餌で獲物をおびき寄せるカエルアンコウなど、ヒーロー級の能力を持つ生き物20種100匹が大集合!期間中は生き物たちが超能力を使って餌を食べる様子を解説する「ヒーローたちのガブガブタイム」も実施します。

日程 9月23日⑥迄

料金 無料(入館料が別途必要)

